

平成31年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	10	05	01	104380	先人顕彰推進事業費	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興	
	施策	02	先人の顕彰			
目的	郷土の先人の業績を広く紹介するため、市内施設で企画展を開催する。					
対象	市民、観光客					
意図	市民が地域の歴史や文化に触れることにより、郷土に誇りと愛着を持つようになる。 観光客は、花巻の先人を理解することにより再訪への足がかりとなる。					
事業概要	共同企画展 3,123千円 令和元年12月7日から令和2年1月26日に開催 企画展開催館5館 (萬鉄五郎記念美術館、花巻新渡戸記念館、博物館、総合文化財センター、高村光太郎記念館) 市内先人顕彰施設にて花巻ゆかりの先人について同時期に企画展を行う。					
市民参加の有無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	共同企画展の開催館数	館	計画	5.00	5.00	
			実績	5.00	5.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	共同企画展入場者数	人	目標	5,000.00	5,000.00	
			実績	4,029.00	3,239.00	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い			

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
共同企画展の開催館数は昨年度と同じであったが、アンケート結果による来館者の満足度も高かった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 妥当である	市内各施設の企画展の開催時期を合わせることにより、来館者へのサービスを図るもので公共関与は妥当である。
	見直し余地がある	先人の偉業を通じ市民へ郷土への誇りを醸成することは市として妥当である。
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地 向上余地がある	知られていない先人は多く、市民へ広く紹介する機会を設ける。企画展の内容について連携することにより、市民をはじめ、より多くの来館者が訪問しやすくなる。
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある	職員の直営で行えるものは対応するなど、最低限のコストを考慮している。簡易な事務については、非常勤職員で対応しているが専門知識を要する業務が多いのでこれ以上の削減はできない。
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある	入館料を徴収し、受益者負担としており公平である。
	費用負担の見直し余地がある	
	適正である	
総合評価	今年度の振り返り	市民が地域の歴史や文化に触れることにより、改めて郷土に目を向け故郷の良さを再発見し愛着を持つようになった。
	次年度に向けて	まだ知られていない先人が多くおり、この先人たちの偉業を調査し広く市民へ紹介する機会を提供する。

平成31年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	10	05	06	104500	宮沢賢治普及・啓発事業費	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興	
	施策	02	先人の顕彰			
目的	宮沢賢治の人と作品に対する理解を深めるとともに、研究者・愛好者の交流を深めるため、宮沢賢治に関する資料を収集・保存し、情報を提供するとともに、セミナーや研究発表会、シンポジウム、研修会、企画展等を開催する。					
対象	市民、観光客及び全国の賢治研究者・愛好者等					
意図	宮沢賢治に関する情報の収集・提供や研究者・愛好者の交流により、賢治作品や研究成果にふれ、賢治の人と作品に対する理解を深め、賢治の普及に大きく寄与する。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 宮沢賢治学会イーハトーブセンター事業補助 宮沢賢治に関する資料・情報の収集及び提供 定期大会、研究発表会・シンポジウム等の開催 研修会・講座等の開催 会員間の情報交流、研究活動への協力 宮沢賢治賞・イーハトーブ賞の選考、学会功労賞の選考・決定 企画展の開催（宮沢賢治学会イーハトーブセンター委託） 賢治とゴッホの原風景 賢治は手帳と鉛筆を、ゴッホは画材を携えて 4月2日～6月30日 宮沢賢治・西域地誌 中央アジアのイーハトーブ へのお誘い 7月2日～令和2年6月30日 					
市民参加の有無	対象外					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	企画展開催回数	回	計画	3.00	3.00	
			実績	3.00	2.00	
2	賢治セミナー開催回数	回	計画	5.00	5.00	
			実績	5.00	5.00	
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	入館者数	人	目標	30,000.00	28,000.00	
			実績	26,085.00	26,828.00	
2	セミナー出席者数	人	目標	500.00	500.00	
			実績	677.00	540.00	
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度			目標値より高い		概ね目標値どおり	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
<p>入館者数は、宮沢賢治童話村にて8月1日～9月1日まで開催されたTVアニメ「文豪ストレイドッグス」コラボ企画展や、宮沢賢治記念館がドラマのロケ地となった影響により前年度より増加したが、目標値には至らなかった。セミナー出席者数は、新テーマの夏季セミナーを開催したこと等により目標値を上回った。</p>		
目的妥当性	公共関与の妥当性	<p>学会は、市民からの提言をもとに、平成2年に「ふるさと創生事業」として設立されたものである。学会は、宮沢賢治の人と作品の普及に多大な寄与をしており、今後も学会が重要な役割を果たすものと思料されることから、公共関与は妥当である。</p>
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	<p>興味・関心の深いセミナーや企画展等を実施し、広報・PRを充実することにより、来館者数の減少を食い止め、セミナー出席者数の増加を図りたい。</p>
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	<p>今までに市正職員の配置を無くし、学会職員に切り替えこの給与の補助をするなど事業費・人件費の削減に取り組み、最小限の経費と人員で実施していることから、削減できる余地はない。</p>
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	<p>イーハトーブ館条例の設置目的等を踏まえ、宮沢賢治に関する講演会、研究会等に使用するほか、市民の学術・文化の発展に寄与する事業に使用するなど、統一した取扱いをしている。また、目的以外使用の使用料の取扱いを定め、統一的に運用している。</p>
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	<p>宮沢賢治イーハトーブ館が宮沢賢治に関する情報拠点として重要な役割を果たすために、様々なジャンルの資料収集・保存を行い、学術及び文化の発展に寄与する成果があった。また、宮沢賢治の人と作品に対する理解を深めるために、企画展やセミナー、研究会等の開催を行い、宮沢賢治に関心を持つ人たちの交流を深め賢治の普及に寄与する成果があった。</p>
	次年度に向けて	<p>興味・関心の深いセミナーや企画展等を実施し、来館者数・セミナー出席者数の増加を図り、宮沢賢治に関心を持つ人たちの交流を深めたい。</p>

平成31年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	05	07	104530	新渡戸記念館企画展示事業費
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興
	施策	02	先人の顕彰		
目的	市民が地域の歴史や文化に触れ、郷土への愛着や誇りを醸成するため、花巻の開発に貢献した新渡戸氏の顕彰と新渡戸家に関わりのあった先人達の業績などを紹介する。				
対象	一般市民及び県内外の観光客				
意図	江戸時代以降の花巻発展に貢献した新渡戸家や新渡戸稲造を顕彰・紹介し、花巻の歴史の一端を市民に触れてもらうとともに、観光客にも本市をPRする機会とする。				
事業概要	<p>特別展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設展とは別に、年間を通して特別展を3回開催した。 <p>教育普及事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の学校以外にも近隣の市外の学校にもPRし来館を促すとともに、出前講座を開催した。 市内外の公民館に働きかけ、高齢者学級や女性学級に活用していただくようにした。 				
市民参画の有無					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	後援・協賛
		補助・助成	委託		
活動指標		単位	区分	H30	H31
1	行事開催数	回	計画	10.00	10.00
			実績	10.00	10.00
2			計画		
			実績		
3			計画		
			実績		
成果指標		単位	区分	H30	H31
1	入館者数	人	目標	25,000.00	20,000.00
			実績	12,815.00	11,559.00
2	生涯学習に利用した小中学校数 / 市内小中学校数	%	目標	27.00	27.00
			実績	20.00	20.00
3			目標		
			実績		
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
<p>入館者の推移</p> <p>H27年度 14,302人（36人/日） H28年度 14,707人（40人/日） H29年度 13,118人（36人/日） H30年度 12,815人（36人/日） R1年度 11,559人（35人/日）</p> <p>生涯学習に利用した小中学校数は例年7校前後。R1年度は6校が利用した。</p>		
目的妥当性	公共関与の妥当性	学校の教科書では中々習うことの少ない新渡戸氏やそのゆかりの先人に知ることは、郷土の歴史に触れ地元愛を醸成するとともに、県内外の観光客に対しても花巻市をアピールする効果もあり、市の業務とするのは至当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	県外からの来館者からは、高い評価をいただいている一方、市民の間においては認識はされているが、リピーターが少ない状況が見受けられる。企画展の周知の工夫や行事を充実させれば、まだ向上する余地はあると思われる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	休館日は年末年始のみという中、正職員2名（事務職と学芸員の各1名）、非常勤職員1名（館長）の体制で運営しており、これ以上の削減は困難である。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内外を問わず入館者に対して、原則同一料金をいただいております。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	市民に地域の歴史や文化を紹介するため、新田開発などで活躍した新渡戸氏や、新渡戸氏ゆかりの先人を展示し、郷土の歴史や先人の業績に対する理解を深めた。
	次年度に向けて	昨年度、常設展示室映像シアターを更新したため、来館者の満足度が向上した。次年度はさらに、シアター機器更新を行い、展示の充実を図る。

平成31年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	10	05	07	104540	新渡戸記念館整備事業費	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興	
	施策	02	先人の顕彰			
目的	利用者の安全確保及び満足度向上と、建物の保全・長寿命化を図るため、施設改修を実施する。					
対象	市民及び観光客					
意図	訪れてもらい、花巻発展に貢献した新渡戸家及び花巻の魅力を感じてもらおう。					
事業概要	新渡戸記念館整備 ・空調機器（エアハンドリングユニット）及び配管等一式の更新					
市民参加の有無	対象外					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	整備事業実施件数	件	計画	1.00	1.00	
			実績	1.00	0.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H30	H31	R02
1			目標			
			実績			
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
当館を整備することでこの事業の意図は達成できるため、成果指標は設定しない。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	花巻新渡戸記念館は市の施設であり、市で整備を行うことが妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	改修整備を行うことによって、来館者の満足度が向上するとともに、来館者の増加が見込まれる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費・人件費ともに必要最低限で行っているため、これ以上の削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	改修整備により、市民及び観光客にとって花巻の魅力が向上するため、受益機会と費用負担について公平であると考えられる。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	来館者が快適に過ごせるように空調設備の更新を行う予定だったが、工期に一定期間を要するほか、入札不調のため、実施できなかった。
	次年度に向けて	来館者が快適に過ごせるように空調設備更新を行う。

平成31年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	10	05	11	104640	高村光太郎記念館企画展示事業費	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興	
	施策	02	先人の顕彰			
目的	高村光太郎をより多くの方々に紹介するため、企画展等を開催する。					
対象	市民、観光客					
意図	市民が地域の歴史や文化に触れることにより、郷土に誇りと愛着を持つようになる。 観光客は、花巻の先人を理解することにより再訪への足がかりとなる。					
事業概要	高村光太郎に関する講座・企画展示 ・企画展 「高村光太郎・書の世界」 740千円 期 間：令和元年9月27日～11月25日 委託先：一般財団法人 花巻高村光太郎記念会 ・花巻電鉄ジオラマ常設展示 388千円 委託先：一般財団法人 花巻高村光太郎記念会 H30年度企画展で作成した花巻電鉄ジオラマを常設展示 ・高村光太郎記念館講座 61千円 光太郎にゆかりのある碑を専門家による説明を受けながら訪ねる。					
市民参画の有無	対象外					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	企画展示の回数	回	計画	1.00	1.00	
			実績	1.00	1.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	入館者数	人	目標	15,000.00	15,000.00	
			実績	14,233.00	10,146.00	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
企画展については、例年県内外の来館者から人気があり、詩碑めぐりの講座についても参加者は定員を超え、アンケート結果によると満足度は高かった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	先人の偉業を通じ市民へ郷土への誇りを醸成することは市として妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	展示内容の充実を図りことにより、入館者が増加すると判断した。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	職員の直営で行えるものは対応するなど、最低限のコストを考慮している。簡易な事務については、非常勤職員で対応しているが専門知識を要する業務が多いのでこれ以上の削減はできない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	入館料を徴収し、受益者負担としており公平である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	芸術家 高村光太郎も愛した郷土に目を向け、故郷の良さを再発見し愛着を持つように努めた。
	次年度に向けて	高村光太郎の偉業を調査し広く市民へ紹介する機会を提供する。

平成31年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名			
01	02	01	16	124620	賢治のまちづくり推進事業費			
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興			
	施策	02	先人の顕彰					
目的	宮沢賢治及び賢治のまち花巻に魅力を感じる市民及び来訪者を増やすため、賢治の作品や考え方に触れる機会を提供する。							
対象	市民、観光客等							
意図	賢治及び賢治の生誕地花巻の魅力を感じてもらおう							
事業概要	賢治のまちづくり推進事業 賢治を学ぶ場づくり 宮沢賢治賞・宮沢賢治イーハトーブ賞、賢治セミナー、「賢治の世界」セミナー、「賢治の世界」ワークショップ、特別展 賢治イベントの開催 宮沢賢治生誕祭全国俳句大会、全国高校生童話大賞、宮沢賢治創造芸術公演、賢治フェスティバル 賢治の香りあふれるまちの整備 アートストリート事業、イギリス海岸リーフレット 賢治情報の発信 賢治イベントカレンダー							
市民参加の有無	対象外							
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標			単位	区分	H30	H31	R02	
1	セミナー等開催数			回	計画	49.00	50.00	
					実績	36.00	36.00	
2					計画			
					実績			
3					計画			
					実績			
成果指標			単位	区分	H30	H31	R02	
1	日常生活の中で宮沢賢治の作品や考え方に触れる機会があると市民の割合			%	目標	67.00	68.00	
					実績	59.70	59.90	
2					目標			
					実績			
3					目標			
					実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
目標値は下回ったものの、前年度に比べるとわずかではあるが上昇している。 内容を見直しながら事業を継続してきたことや、情報発信の充実に取り組んできたことが数値に反映したものと考えられる。		
目的 妥当性	公共関与の妥当性	市内外のより多くの方に賢治に興味をもってもらうためには、賢治を学び、賢治に触れる機会を創出するため、市が積極的にイベント等の開催や環境整備、情報発信を行う必要がある。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	イベントの開催や環境整備、情報発信を継続することで、賢治の作品や考え方に触れる機会が増え、成果が向上すると考えられる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	国、県等の補助を最大限に活用するとともに、イベント等の開催では関連団体等との協同による実行委員会形式をとっており、削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内外の広範囲を対象としているため、受益機会と費用負担については公平と考える。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	市民・観光客が賢治のまち花巻で賢治に触れる機会を創出するため、賢治関連イベントの開催や賢治を学ぶ場づくりを進めるとともに、情報を内外に向けて積極的に発信することで「賢治さんの香りあふれるまち」の醸成が図られた。
	次年度に向けて	今後とも事業周知を積極的に行っていくとともに参加者や関係者・団体からの意見聴取に努め、事業内容の見直しにつなげていきたい。